

入中3年人権だよ

徳島市 八万中学校
3年生 第19号
2021年11月 8日
編集・発行 吉成正士

弘瀬喜代さん人権講演会(10月29日) 第4部

差別は必ずなくせる

私は、弘瀬さんの「差別はすべての人々を苦しめる」という言葉がすごく胸に残っています。私は今まで、「差別する人は悪い。差別される人はかわいそうだ」と、他人事のように考えていました。けれど、差別は自分にも関わっていて、すべての人を悲しい気持ちにさせる、絶対になくさなければいけないものだということに気づくことができました。そして差別は必ずなくせるものなんだと思いました。理屈ではなく、心で人の心を動かしていくことで、すべての人々の心を温かくしていけるという言葉聞いて、皆が世界を良い方に変えられる力を持っているのだと思いました。

カメレオンのようにありのままの自分を隠すことなく、本当の自分を認めてくれる人と出会えるように、まずは自分が相手を認め、本音で話してもらえ人になろうと思います。またそんな関係をすべての人が持つことができるように、私は弘瀬さんのような本当の「強い」人になりたいです。そしてこれからの人生の中で、いろいろな人の刺激になり、少しでも苦しんでいる人を減らせるように、自分の言動から変えていきたいと思いました。

1組 溝杭文香

みなさんにぜひしてほしいことがあります。それは、これまで学んできた人権学習を、「発信する」ことです。その相手はもしかすると、家族かもしれません。クラスの友達かもしれません。塾の友達かもしれません。里帰りした親戚かもしれません。進学先でできた新しい友達かもしれませんし、先生かもしれません。とにかく、発信する側になってほしい。それは、弘瀬さんのように上手くはないかもしれませんが、人それぞれ味わいは違うわけですから、あなたはあなた



なりの味わいで発信してもらえたらと思います。

誰かから大切なものをいただいたとき、お返しをしますよね。

貰いっぱなしというわけにはいきません。だとすれば、

弘瀬さんからいただいたものや、これまでいろんな方からいただいた大切なものを、お返しする場面があっていいと思うのです。今すぐではないかもしれませんが。大人になってから、親になってからかもしれません。

いただいた方に直接恩返しできなくて、別の方にその恩を送ることを、「恩返し」ではなく、「恩送り」ということがあるそうです。いただいたら返す。返せない場合は、どこかで誰かに、いただいたものを送る。そんなふうに、「発信する」ことをしてもらえたらと思います。それが続いていけば、誰かがした発信はどこまでも広がって、いつかこの世の中を変えてくれるのではないかと思います。

本当の友達とは

弘瀬喜代さんは本当にいい人なんだと思う。なぜなら、あまり知らない人の相談に親身になって乗るなんて、普通の人にはできないと思うからだ。弘瀬さんは周りの人が苦しんでいるときはそばにいてあげて、喜んでるときは一緒に喜んであげられるようなあたたかい存在なんだと思う。僕もそんな人になりたいと思った。

人を罵倒するようなことや悪口は、これから言わないようにしたい。それと、友達が本当に困っているときに、そばにいて相談に乗ってあげられるようになれたらいいなと思う。そして、本当の友達というものについてももっと考えたい。一緒にいて楽しいだけが本当の友達じゃないと思う。本当の友達って、何か難しいと思った。

4組 佐川凌雅

人はひとりでは生きていけません。ひとりで生きているような気になっていても、実はそうでないものです。周りに迷惑や心配をかけながら、助けられ支えられながら生きているものです。つまり、人は人とのつながりの中で生きているのだと、長年生きてきて、そう思わされます。

本当の仲間は、「悲しみを半分に、喜びを倍に」してくれると言いますが、本当にその通りだと思います。仲間が悩んだとき、困ったとき、相談をしてくれるかどうかなんて分かりません。おそらくはみなさんも、無理矢理聞き出そうとはしないでしょう。それでも、そんなとき、そっと、ずっと、そばでいてくれるだけで気持ちが安らいだりするのです。声をかけられればそれもいいですが、かけられなくても構いません。そっと隣にいれば、それでいいのです。本当の仲間とは、そういうものだと思います。

